

ゼヒュロスの会 第3回 開催のお知らせ

下記の通り、6月10日（土） 午後1時から京都新都ホテル において、第3回「対流圏微量成分衛星解析」についてのシンポジウムを開催致します。この会には西風の神にちなんだ「ゼヒュロスの会」との名称がついています。今回も招待講演以外に一般講演を募集致しますので、是非多数のご応募をお願いします。

趣旨説明

対流圏微量成分の研究において、広域観測の行える衛星観測には大きな期待がもたれています。近年ではESAのENVISAT,NASAのEOS-Auraなど、多くの衛星センサーから新しい研究成果がどんどん出されています。今後は日本でもこれらのデータを活用した研究活動が望まれます。

この会では、対流圏微量成分衛星解析に興味のある研究者が、ユーザーの立場から自由に情報交換や勉強をすることを目的としています。特定のプロジェクトや組織とは特に関係ありません。今回は「対流圏微量成分衛星観測の現状と将来」と題して、実際に活用できる衛星データの情報交換、解析結果についての討議を行います。このような実績をふまえ、我々も日本で対流圏衛星を持つことができれば、と願うのは必然でしょう。同じ夢を持つもの同士、「将来計画」についても夢を語りしたいと思います。将来この分野に進みたい大学院生のみなさんにも多数参加を呼びかけます。

ゼヒュロスの会は総合地球環境学研究所の後援を得ています。懇親会も準備致しますので、是非多数ご参加ください（シンポジウムへの参加は無料です）。

世話人

奈良女子大学理学部	林田佐智子	sachiko@ics.nara-wu.ac.jp
総合地球環境学研究所	早坂忠裕	hayasaka@chikyu.ac.jp
京都大学理学部	余田成男	yoden@kugi.kyoto-u.ac.jp

なお、この件に関するお問い合わせは

奈良女子大学理学部 林田佐智子 sachiko@ics.nara-wu.ac.jp または
総合地球環境学研究所 早坂忠裕 hayasaka@chikyu.ac.jp

までお願いします。

準備の都合上、参加希望の方は6月1日までに受付用アドレス

zephyrus-sec@ics.nara-wu.ac.jp まで

お知らせください。また、一般講演を希望される方はあわせて講演題目と希望の講演時間をお知らせください。

遠方から来られる方には総合地球環境学研究所から旅費を援助しますので早坂

hayasaka@chikyu.ac.jp までご相談ください。

「ゼヒュロスの会 第3回シンポジウム」

日時： 6月10日（土） 午後1時から6時

会場： 新都ホテル （会場詳細はお問い合わせください）

（京都駅八条口前 <http://www.miyakohotels.ne.jp/newmiyako/>）

プログラム案（敬称略）

（企画講演）

「対流圏微量成分衛星観測の現状と将来」

1:00-1:20 挨拶・趣旨説明 「対流圏微量成分衛星観測の現状」（林田：奈良女子大）

1:20-1:50 北和之（茨城大） 「対流圏衛星計画に望むこと～こんなセンサーあったらいいな～」

1:50-2:00 休憩

2:00-2:20 仲田（茨城大） 「Airborne OPUSによるオゾン観測」

2:20-2:50 野口克行（奈良女子大） 「GOME/SCIAMACHYで観測された対流圏NO₂とオゾン」

2:50-3:20 鶴野伊津志（九州大） 「モデルと衛星の比較」

3:20-3:30 休憩

（一般講演）

3:30-5:00

5:00-6:00 総合討論

6:30～ 懇親会 （場所未定・要参加費）

以上